

事務事業名	中村地区老人クラブ連合会運営事務			担当	教育委員会 生涯学習課 中村分館		
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり		電話番号	0285-82-2902		
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	社会教育法、真岡市公民館設置条例				<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和40年度～）		
予算科目					<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	中村地区老人クラブ連合会は、単位クラブ会員の親睦と福祉増進を図り、民生安定に寄与することを目的として設立した。主な事業は、健康維持のため各種スポーツ大会を開催したり、教養を深め見聞を広げるため研修会や各事業を実施するほか、環境美化活動への参加などを行っている。分館では、これら事業の連絡調整と会員への通知や参加取りまとめ、会場準備等を行っている。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 25年度実績 老人クラブ連合会が主催する事業の連絡調整と会員への通知や参加取りまとめ、会場準備等を行っている。 26年度計画 前年度に同じ	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア	事業実施回数	回	20	18	21	20	20
	イ	延参加者数	人	1,400	1,380	1,260	1,168	1,200
	ウ							
	エ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 中村地区老人クラブ連合会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア	老人クラブ数	団体	16	16	16	16	14
	イ	会員数	人	602	582	584	509	456
	ウ							
	エ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 会員の親睦と福祉増進とともに単位老人クラブ間の連絡協調と活動の活性化を進める。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア	充実した活動をしているクラブ数	団体	16	16	16	16	14
	イ	充実した活動をしている会員数	人	602	582	584	509	456
	ウ							
	エ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 高齢者の健康と福祉の向上とともに住みよい地域づくりを図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
	ア	高齢者に占める会員の割合	%	25	23.2	22.4	18.4	16.5
	イ							
	ウ							
	エ							

(2) 総事業費の推移		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	100	100	100	120
		人件費計(B)	千円	427	424	420	488
トータルコスト(A)+(B)		千円	427	424	420	488	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	会員の親睦と福祉増進とともに単位老人クラブ間の連絡協調と活動の活性化を図る。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	高齢者のニーズや価値観が多様化するとともに「老人クラブ」の名称を敬遠し、加入率が減少傾向にある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	パソコンに不慣れな会員が多く、事務的な支援の要望が多い。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の健康と福祉の向上を図り社会参加を促すものである。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の健康維持と生きがいづくりは市の施策である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 地区老人クラブ連合会に加入する単位クラブとその会員が対象である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 高齢者の自主的な活動が中心であり現状の水準を維持していく。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 地区老人クラブ連合会の運営に支障が生じ、高齢者の健康づくりや社会参加の機会が減少する。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 運営支援事務のみである。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の事務的な支援である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 地域全体の高齢者が対象である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							